

2011年 Global Compact支持・支 援活動と4分野「10原 則」への取り組み

フルハシEPO株式会社

FULUHASHI EPO CORPORATION

期間：2011年2月～2012年1月

～ EPOは、地球の生態系、環境を表す「Eco・
Environment」と港を表す「Port」から名づけました ～



2011年 Global Compact支持・支援活動と 4分野「10原則」への取り組み

<トップメッセージ>

フルハシEPOは『環境』を主軸に、Global Compact (GC)の活動「4分野10原則」を持続的に支持・支援し、CSR(企業の社会的責任)活動を積極的にを行います。

当社は、GCの4つの分野「人権・労働・環境・腐敗防止」を目指したCSR活動のため、3つCSR基本方針『社会とともに』『環境とともに』『社員とともに』を掲げ、フルハシグループ企業行動憲章のもと、法令・倫理規範を遵守し、安全性と品質を追求するとともに経営の効率化、透明性を常に意識し、お客様・お取引先・社員・地域社会・株主を含む全てのステークホルダー（利害関係者）に対してメリットある経営を行うことで社会的責任を果たします。

4分野10原則の遵守された世界を目指し、未来の子供たちが安心して暮らすことのできる低エネルギーで持続可能な社会の発展に寄与します。

代表取締役社長 山口 直彦



＜人権原則＞

原則１：企業はその影響の及ぶ範囲内で国際的に宣言されている人権擁護を支持し、尊重する。

原則２：人権侵害に加担しない。

《当社の方針》

- ・人権尊重（フルハシグループ企業行動憲章）
あらゆる企業活動の場面において人権を尊重し、差別的取扱い、児童労働、強制労働を認めません。
- ・行動規範：基本的人権の尊重、人種、信条、性別、年齢、社会的身分、門地、民族、宗教または障害の有無等の理由による差別や個人の尊厳を傷つける行為の禁止。
- ・「お取引先との公正・透明な取引」
（ＣＳＲ活動：基本方針『社会とともに』）
- ・「人権擁護を支持する人事」

《取り組み・活動》

- １）フルハシグループ企業行動憲章、行動規範の作成。
- ２）人権に関する意識向上のため、従業員へ行動指針カードの配布、携帯の指示。
- ３）ＣＳＲ活動：基本方針を明記したリーフレットの配布。
- ４）新入社員研修時にGC４分野原則についての講習。
- ５）人権を支持、尊重する人事方針。
- ６）「エコモチ」活動への参加による「国連ミレニアム開発目標」の支持。
（エコモチ活動・国連ミレニアム開発
<https://www.ecomoti.jp/npongo.html?page=2#millennium>）

《成果・評価測定》

- １）定期的なアンケートによる従業員の人権擁護意識の調査。
- ２）研修報告書の作成。
- ３）エコモチ活動について、定期的な活動・寄付の調査と報告。



<労働原則>

原則 3：組合結成の自由と団体交渉の権利を実効あるものにする。

原則 4：あらゆる形態の強制労働を排除する。

原則 5：児童労働を実効的に廃止する。

原則 6：雇用と職業に関する差別を撤廃する。

《当社の方針》

・人権尊重（フルハシグループ企業行動憲章）

あらゆる企業活動の場面において人権を尊重し、差別的取扱い、児童労働、強制労働を認めません。

・従業員の尊重（フルハシグループ企業行動憲章）

従業員一人ひとりの個性を尊重します。また、能力を十分に発揮でき、生き生きと働ける環境を実現します。

・「社員一人ひとりの多様性を尊重し、働き甲斐をもって自己実現に向かう人材育成」、「ワーク・ライフ・バランスに配慮し、働きやすい職場環境づくり」（CSR活動：基本方針『社員とともに』）

・「従業員の安全と健康を確保するための人事プログラム」

《取り組み・活動》

1) 従業員の意識向上のため行動指針カードの配布、携帯の指示。

2) 「世界寺子屋運動（社団法人日本ユネスコ協会連盟）」の支持・協力。
（エコモチ活動 <http://ecomoti.jp/>）

3) ワークライフバランス実現のため、育児休業・介護休業制度、福利厚生制度の充実。

4) オアシス運動（より良い職場環境づくり活動）の促進。

5) 雇用平等、労働の多様性の促進（障害者雇用等）

<労働原則>

《成果・評価測定》

1) エコモチ活動 <http://ecomoti.jp/>について、定期的な活動・寄付の調査と報告。

2) オアシス運動にたいする評価（社内表彰制度）。

3) 雇用の多様性についての外部アンケート報告。（育児時短勤務、障害者・高齢者雇用など）



<環境原則>

原則 7：環境問題の予防的なアプローチを支持する。

原則 8：環境に関して一層の責任を担うためのイニシアチブをとる。

原則 9：環境にやさしい技術の開発と普及を促進する。

《当社の環境方針》

・「環境理念」トップ提言

(HPへ掲載 http://www.fuluhashi.co.jp/fe_ee.html)

「私たちは、地球環境と子どもたちが安心して暮らす未来のために資源の有効利用、リサイクル、グリーンな資源・エネルギーによって持続可能な社会の実現を目指します。」 代表取締役 山口直彦

・「環境方針」各拠点への揭示

フルハシEPOは事業の遂行にあたり、よりグリーンな経営・生産活動を目指す取り組みの基本方針として以下を定めます。社員への周知徹底に努め、公開できるようにしています。

①事業活動、製品及びサービスが環境に与える影響を適確に捉え、技術的・経済的に可能な範囲で環境目的・目標を定め、見直しを行い、パフォーマンス及び環境マネジメントシステムの継続的向上を図ります。

②環境関連の法令及び組織が同意する適用可能なその他の要求事項を遵守します。

③環境への汚染の防止につとめ、一層の環境保全に取り組みます。

④この方針を達成するために、全従業員をあげて環境活動を推進し、「環境品質管理委員会」がこれを支援します。

⑤この方針は広く一般に公開します。

・地球環境保全への貢献（フルハシグループ企業行動憲章）

地球環境への負荷を低減し、持続可能な社会づくりに貢献します。



<環境原則>

《取り組み・活動》

- 1) 従業員の環境意識向上のため行動指針カードの配布、携帯の指示。
- 2) 「エコモチ」活動参加による環境保護NPO/NGO団体の支援。（エコモチ活動 <http://ecomoti.jp/>）
- 3) 環境・安全委員会による環境経営管理システムの構築。
- 4) エコステージ（環境経営評価・支援システム）の更新。
- 5) あいちCO2削減マニフェスト目標達成活動。
- 6) 「企業の森づくり」活動。（2008年9月協定締結）
- 7) 従業員ボランティアによる森林保全活動。
- 8) 県民グリーン運動。（4工場で緑化推進活動を実施）
- 9) 2011年国際森林年における森林保護促進および活動への参加。
- 10) 環境保護製品の開発。

《環境にやさしい技術の開発と普及を促進する事業活動》

- 1) 再生可能エネルギーの活用
 - ・木質バイオマス発電所の合併事業参加
～植林から再生可能エネルギーまで～
- 2) 建物の建築・解体現場から出る廃棄物の分別・回収
（エアコンのフロン回収も実施）
- 3) 間伐材の循環的有效活用
 - ・間伐作業による資源の有効活用と森林整備の促進
 - ・間伐材を利用したパレット「森林再生パレット」の製造・販売（従来のプラスチックパレットよりCO2排出量を97%削減）
 - ・補修による長期使用（King of REUSE）
 - ・使用済みのパレットを回収し、木質バイオマス燃料へリサイクル



川崎バイオマス発電所
木質チップ供給工場

<http://www.kawasaki-biomass.jp/>



<環境原則>

《成果・評価測定》

- 1) エコモチ活動 <http://ecomoti.jp/>について、定期的な活動・寄付の調査と報告。
- 2) 環境安全委員会における定期的な実績報告。
- 3) 環境保全活動のステークホルダー等への報告「環境への約束」のホームページ掲載。
http://www.fuluhashi.co.jp/fe_ee.html
- 4) 外部(官公庁等)への活動実績報告。



＜腐敗防止原則＞

原則１０：強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗を防止するために取り組む。

《当社の方針》

・校正な企業活動（フルハシグループ企業行動憲章）

公正、透明、自由な競争を行います。また、政治、行政との健全かつ正常な関係を保ちます。

- ・腐敗防止原則の遵守「お取引先との公正・透明な取引」
（CSR活動：基本方針『社会とともに』）

《取り組み・活動》

- 1) CSR活動：基本方針を明記したリーフレットの配布。
- 2) 腐敗、強要行為にたいする社内監査の実施。
- 3) 腐敗防止に関する社内研修の実施。
- 4) 「エコモチ」活動への参加による「国連ミレニアム開発目標」の支持。

（エコモチ活動・国連ミレニアム開発

<https://www.ecomoti.jp/npongo.html?page=2#millennium>）

《成果・評価測定》

- 1) 社内監査による調査報告。
- 2) 研修報告書の作成。
- 3) エコモチ活動 <http://ecomoti.jp/>について、定期的な活動・寄付の調査と報告。



参考資料１：フルハシグループ企業行動憲章

フルハシグループは、健全な事業活動をととして収益性を高め、活力ある発展と社会への還元を図ります。

そのためには、関係法令の遵守はもちろんのこと、良き企業市民として社会的責任を果たし、お客さま、株主・投資家の皆さま、取引先、地域社会、従業員をはじめとした関係者からの信頼を得て、企業価値を高めることが必要だと認識しています。

一、お客さまの満足

有用で信頼性の高い商品やサービスを、安全に十分配慮して開発、提供し、お客さまの満足と信頼を獲得します。

一、新しい技術への挑戦

創造的な技術開発に挑戦し、新事業領域の開拓を行い、豊かな未来に貢献

一、公正な企業活動

公正、透明、自由な競争を行います。また、政治、行政、との健全かつ正常な関係を保ちます。

一、情報発信

正確で十分な企業情報をわかりやすく適時かつ適正に発信し、企業活動の透明性を高めます。

一、地球環境保全への貢献

地球間への負荷を低減し、持続可能な社会づくりに貢献します。

一、地域社会との調和

国や地域の文化・慣習を尊重し、その発展に貢献する経営を行います。

一、社会貢献活動

社会の一員であることを深く自覚し、良き企業市民として積極的に社会貢献活動を行います。

一、人権尊重

あらゆる企業活動の場面において人権を尊重し、差別的取扱い、児童労働、強制労働を認めません。



参考資料 1：フルハシグループ企業行動憲章

一、従業員の尊重

従業員一人ひとりの個性を尊重します。また、能力を十分に発揮でき、生き生きと働ける環境を実現します。

一、知的資産・個人情報の管理

知的資産や個人情報の価値を認識し、適正な管理を実行します。

以上



参考資料 2 : CSR活動

グローバルコンパクトの4つの分野「人権・労働・環境・腐敗防止」を目指したCSR活動のため、当社は経営トップのもと、3つ基本方針

『社会とともに』『環境とともに』『社員とともに』を掲げています。法令・倫理規範を遵守し、安全性と品質を追求するとともに経営の効率化、透明性を常に意識し、お客様・お取引先・社員・地域社会・株主を含む全てのステークホルダー（利害関係者）に対してメリットある経営を行うことで社会的責任を果たします。

『社会とともに』・・・お客様、お取引様、地域の方々など社会の様々な方とコミュニケーションを取り、お客様の立場に立って、誠実に製品やサービスをお届けします。お取引先との相互発展・成長のため、ビジネスパートナーとして公正・透明な取引を行います。また、地域社会の一員として積極的に社会貢献活動を展開します。

『環境とともに』・・・地球環境の保全と再生に取り組むべき重要な経営課題と捉え、事業における環境負荷低減活動に主体的に取り組み、資源の有効活用によりサステナブルな社会づくりにベストを尽くします。

『社員とともに』・・・社員一人ひとりの多様性を尊重し、働きがいをもって自己実現に向かう人材育成を目指します。ワークバランスに配慮し、働きやすい職場環境づくりを進めます。



参考資料 3：行動指針「フルハシスピリッツ」

グローバルコンパクトの4つの分野「人権・労働・環境・腐敗防止」、およびCSR活動への従業員意識向上のため、「行動指針カード」を配布・携帯を指示しています。

『行動指針』

- ・世の中にとって必要か？
 - ・正しいか？
 - ・環境にやさしいか？
1. 新しい可能性にチャレンジし、持続可能な社会を実現します。
 2. お客様の立場に立って考え、ニーズに応えます。
 3. プラス発想と行動力で付加価値を高めます。
 4. 知性・技術・感性を育て、使命感を持って仕事に取り組みます。
 5. 豊かなところでユーモアを忘れずに仕事を乐しみます。



参考資料 4 : エコモチ活動 <http://ecomoti.jp/>

「エコモチ」・・・日常生活で自らのレベルや関心に合わせて環境保護活動の目標を登録し、実践できたかどうかを申告するという企業向けWEBシステムです。

社員の環境保護（エコ）活動を「見える化」し、CSR活動を活性化させます。申告されたアクションの数に応じてシードという単位のポイントが社員に発行され、シードは環境保護、貧困撲滅、教育支援、医療支援などの活動を行うNPO／NGOに社員の希望で分配、寄付されます。

当社はこの活動を通じて、社員のグローバルコンパクト4原則への意識を向上させ、活動を促進・活性化させています。

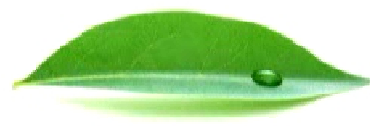
また各種NPO／NGOへの寄付により社会貢献活動を広げています。

＜シードによる寄付先＞

- ・ 特定非営利活動法人ハンガー・フリー・ワールド：ひとつぶ募金（飢餓）
- ・ 社団法人日本ユネスコ協会連盟：世界寺子屋運動（初等教育）
- ・ 社団法人シャンティ国際ボランティア会：絵本を届ける運動（図書館）
- ・ 公益財団法人ケア・インターナショナル ジャパン：弱い立場の女性や子供への自立（極度の貧困）
- ・ 特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン：児童保護募金（子供の保護）
- ・ 財団法人ジョイセフ（家族計画国際協力財団）：ホワイトリボン運動（お産）
- ・ 特定非営利活動法人シェア＝国際保健協力市民の会：国境を越えてエイズに取り組む
- ・ 財団法人オイスカ：「子供の森」計画づくり
- ・ 特定非営利活動法人難民を助ける会：地雷回避教育
- ・ 社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン：紛争・災害時の子供たちへの緊急支援
- ・ GREENSTYLE基金：生きものと里山の保全
- ・ 財団法人世界自然保護基金ジャパン WWF Japan：海の危機を救う自然保護活動

＜企業メニュー（一例）＞

- ・ 業務の改善提案書を提出
- ・ エコ活動
- ・ 省エネ活動
- ・ ボランティア活動

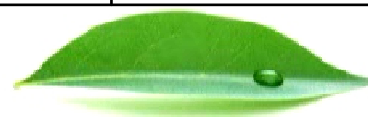


参考資料 4 : エコモチ活動 <http://ecomoti.jp/>

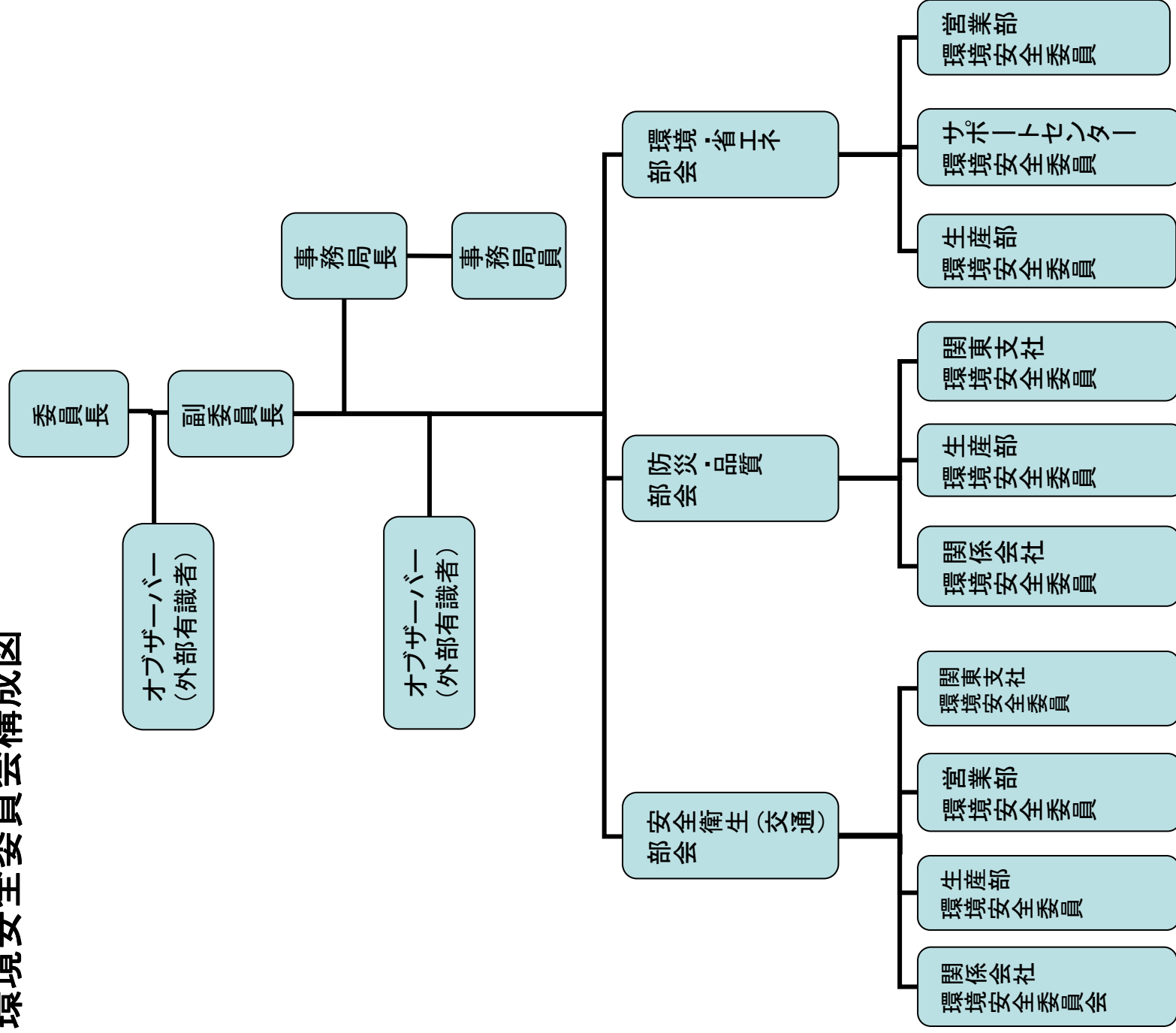
＜シードによる寄付先＞

- ・ 特定非営利活動法人ハンガー・フリー・ワールド：ひとつぶ募金（飢餓）
- ・ 社団法人日本ユネスコ協会連盟：世界寺子屋運動（初等教育）
- ・ 社団法人シャンティ国際ボランティア会：絵本を届ける運動（図書館）
- ・ 公益財団法人ケア・インターナショナル ジャパン：弱い立場の女性や子供への自立（極度の貧困）
- ・ 特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン：児童保護募金（子供の保護）
- ・ 財団法人ジョイセフ（家族計画国際協力財団）：ホワイトリボン運動（お産）
- ・ 特定非営利活動法人シェア＝国際保健協力市民の会：国境を越えてエイズに取り組む
- ・ 財団法人オイスカ：「子供の森」計画づくり
- ・ 特定非営利活動法人難民を助ける会：地雷回避教育
- ・ 社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン：紛争・災害時の子供たちへの緊急支援
- ・ GREENSTYLE基金：生きものと里山の保全
- ・ 財団法人世界自然保護基金ジャパン WWF Japan：海の危機を救う自然保護活動

| NPO/NGO名 | 寄付シード数 |
|----------------------------|--------|
| 特定非営利活動法人 シェア＝国際保健協力市民の会 | 2,210 |
| 財団法人 オイスカ | 2,577 |
| 財団法人 ジョイセフ(家族計画国際協力財団) | 7,219 |
| 特定非営利活動法人 ハンガー・フリー・ワールド | 3,143 |
| 社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン | 5,718 |
| 公益財団法人 ケア・インターナショナル ジャパン | 1,934 |
| 特定非営利活動法人 難民を助ける会 | 5,674 |
| 社団法人 シャンティ国際ボランティア会 | 1,518 |
| 特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン | 3,030 |
| 社団法人 日本ユネスコ協会連盟 | 1,694 |
| GREENSTYLE基金 | 4,319 |
| 財団法人世界自然保護基金ジャパン WWF Japan | 14,460 |



参考資料5：環境経営管理システム 環境安全委員会構成図



参考資料 6：環境・安全委員会活動

「環境、品質、安全、衛生」の4つに重点を置いて活動をし、実績の横串展開に努めています。

職場の「人権、労働」の公平さを維持するための安全確保とリスク管理、地球温暖化防止のために社内外における環境保全活動を推進しています。

また、活動内容は、毎月委員会にて報告・管理され、発表会にて実績・成果のレビューをしています。

＜主な活動＞

- ・ 環境保全活動を推進
- ・ 職場の安全
- ・ 環境・安全発表会による活動の見える化。

＜委員会・発表会・社内安全研修の様子＞



＜地域貢献活動の様子＞



参考資料 7 : エコステージ活動

<http://www.ecostage.org/index.php?u=23fb0f4d3b87c2ec337169ed0a032b15>

「エコステージ」とは・・・「エコステージ」(Eco Stage)は、ISO14001の意図を踏まえつつ、それを補完し発展させることで、「経営とリンクした環境マネジメントシステム」の構築はもちろん、それを段階的に成長させることで、更に高度な経営管理システムの実現をも可能にするものです。すなわち、従来の経営管理システムを基盤として、そこに「環境」という視点を導入することで、「環境経営システム(=経営とリンクした環境マネジメントシステム)」へと進化させようとするものです。更には段階的にステージアップしていくことで、品質、労働安全衛生、財務などの他のマネジメントシステムとの融合や、CSRの実現をも視野に入れた経営改善の支援ツールです。

フルハシEPOは全社でエコステージの導入を推進しています。活動は毎年定期評価され、3年に1度認証の更新をします。

フルハシEPOのエコステージ1取得拠点

- ・愛知第一工場(春日井)
- ・飛島工場(現飛島リサイクルランド)
- ・愛知第二工場(弥富)
- ・三重工場
- ・本社
- ・本部



参考資料 8 : あいち C O 2 排出削減マニフェスト

「CO2排出削減マニフェスト」は、2005年1月に策定した「[あいち地球温暖化防止戦略](#)」に掲げられた25の「重点施策」に関連して、事業者の自主性や創意工夫を活かした取組内容を、事業者自身が「マニフェスト」（宣言、公約）として県に提出するものです。

県は、これを承認・登録・公表するとともに、登録証を提供します。

フルハシEPOのCO2排出削減マニフェスト

- ・ 全社のCO2排出量を、原単位で2005年対比15%削減（2009年改訂）
- ・ クールビズ、ウォームビズの徹底（2011年は5月より実施）
- ・ 社員の地域・家庭における環境保全活動と社会貢献「エコモチ」の推進
- ・ 社内提案制度による環境改善の推進（2011年3月末で200改善提案）
- ・ 工場・事業所での設備交換時の省エネ設備・機器の導入及び水平展開
- ・ ハイブリッド自動車・低公害車への入替え（現在保有車両の100%達成）
- ・ 取引業者に対するグリーン配送の要請（全納入業者の50%）
- ・ 新たなバイオマス燃料の開発・生産の促進
- ・ ETC車載器を、2011年3月末までに全車両に
- ・ 社員へのエコドライブの徹底（社内広報による呼びかけ）
- ・ 建設廃棄物のリサイクルの推進
- ・ 木質バイオマス燃料の製造・販売促進（木質バイオマス燃料50万トの販売）
- ・ 社員の森林系ボランティアへの参加推奨（2011年3月末までに植樹1,000本）
- ・ 県民グリーン運動の推進（主要拠点である4工場で緑化推進）
- ・ 教育機関への出張講座の協力・企画（2011年3月末までに250回）
- ・ 新エネルギーに関する研究開発に参加（2011年3月末までに2テーマ）
- ・ 製造工程における省エネ化提案事業の推進（2011年3月末までに50提案）

〈活動・成果報告〉

当社マニフェストの内容は当社ならびに愛知県のホームページに掲載され、目標達成のための活動を環境安全委員会を中心に行っています。

2011年6月に活動結果を愛知県へ報告しました。

目標期日後も活動を続けていきます。



参考資料 9：企業の森づくり活動

2008年9月11日、フルハシEPOは、CSR活動の一つとして、愛知県とその県有林の一部を「企業の森づくり」活動のフィールドとして活用させていただく協定を締結しました。

フルハシEPOでは、60余年の社業で培ったバイオマス利用事業に、「生物多様性」の観点を加え、社員による森林の整備だけでなく、活動に携わる人々の情報交換や人的交流を通して、県と県民・企業が協働しあい、未来に残る森づくりに取り組んでいます。

- 実施期間： 2008年9月11日～2011年9月
- 場 所： 愛知県豊田市羽布町 羽布県有林のうち約5ha
- 活動内容：
 - ・森林環境調査(植生調査・照度調査など)
 - ・社員およびその家族のボランティアによる間伐・植林体験の実施
 - ・下草刈・除伐・間伐などの森林整備
 - ・「企業の森」をフィールドとした環境学習の実施

＜ボランティアによる間伐の様子＞



参考資料 10：社会貢献活動（2011年一例）

2011年4月：東日本大震災
救援活動（物資運搬）



2011年9月：ボランティア清掃活動



2011年9月：環境研修・
稲刈り体験会

